

<東海北陸> 国際高等専門学校（私立）

*****断り*****

図や一部文章は当該高専 HP 及び当該高専が作成する資料より引用

国際高等専門学校 HP : <https://www.ict-kanazawa.ac.jp/>

国際高等専門学校入学案内 2021 :

http://ictmedia.s3.ap-northeast-1.amazonaws.com/wp-content/uploads/2020/05/2021_School_Guide_j.pdf

*アクセス(図は国際高専 HP より引用)

金沢キャンパス

〒921-8601 石川県金沢市久安 2-270



図 1 金沢キャンパスアクセスマップ

白山麓キャンパス

〒920-2331 石川県白山市瀬戸辰 3-

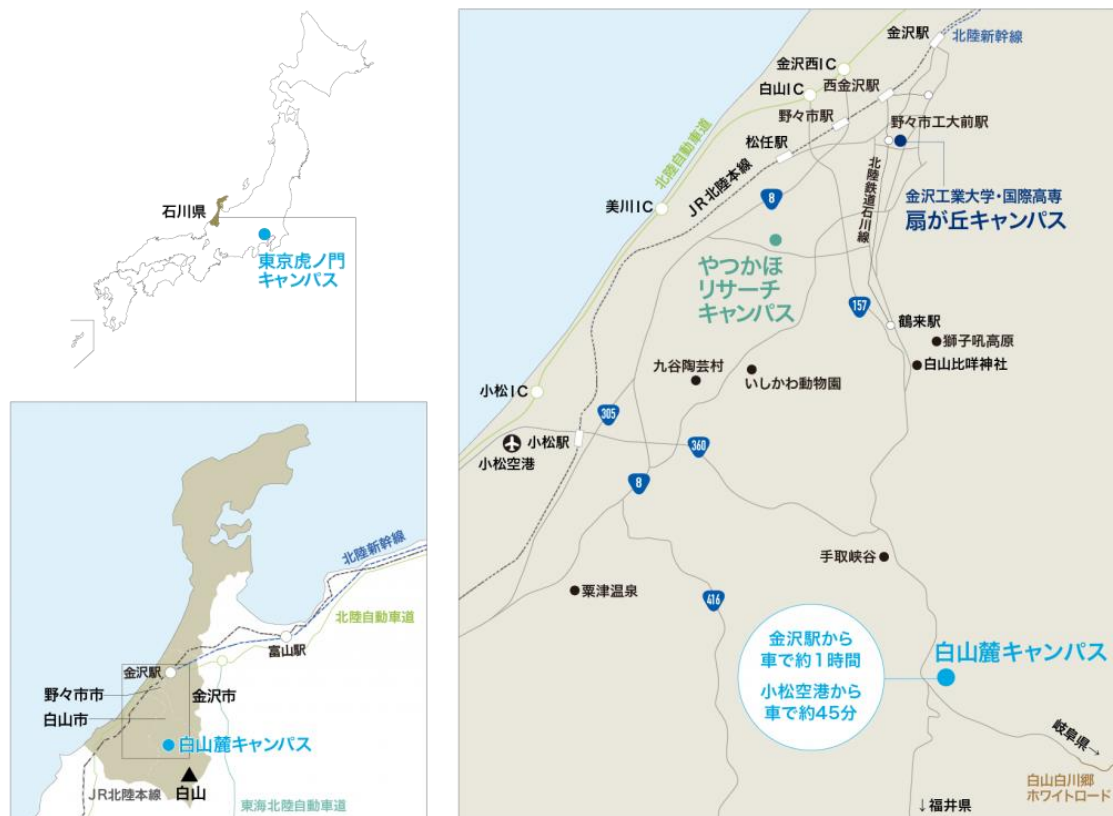


図2 白山麓キャンパスアクセスマップ

*特色(一部文章は国際高専 HP より引用)

・グローバルイノベーターの育成を目指して

国際高等専門学校並びに金沢工業大学は、共にグローバルに活躍するイノベーターの育成に努めている。グローバルイノベーターとは先進的な工学の知識や洞察力を有するだけでなく、創造的な解決策を用いて、さまざまな分野の専門家や多様な文化・価値観を持つ人々と協働し、グローバル社会において新たな価値を創り出すプロフェッショナルであると私たちは考える。また、科学やテクノロジーの進化のスピードが速まるなか、ハイレベルの専門技術及び研究開発、並びに学際的分野における活動等の学修経験は、これまで以上に大きな強みになる。

このような進化したグローバルイノベーターを育成するために、国際高専の5年間に、金沢工業大学3・4年次と大学院修士課程を2年間たした4年間、つまり、5+4の一貫教育プログラムを構築しており、国際高専のエンジニアリングデザイン教育(ED教育)、大学・大学院でのプロジェクトデザイン教育(PD教育)を主柱としたカリキュラムにより、グローバルイノベーターを育成する「5+4」の一貫教育を展開している。

・教育の特色

- 入学時から継続的にデザインシンキングを実践する機会を設けて、問題を発見・定義する経験を繰り返し、幅広い研究成果や調査技術を駆使し、問題の解決へと結びつける力を養っていく。
- 他者と協働しながらアカデミックな探究の精神を養い、批判的思考や分析的思考、そしてディスカッションやディベートを含め、効果的なコミュニケーションのスキルを英語で磨く。
- 地域とのふれあいを意識し、地域社会や自然・環境を調査・研究対象としたプロジェクトに取り組む。また、地域貢献を通じて、地域社会の一員としての自覚を深める。
- 理工学を統合して学ぶ STEM 教育を英語で行い、理工学的思考力を英語で身につける。
- 異なる国や文化の人々と効果的に協働する体験を、集中的に与える。

学年が進むにつれ教育環境を変え、より複雑な課題に取り組む。1・2年生を新設の白山麓キャンパス（全寮制）で、3年生は全員がニュージーランド留学、高専4・5年生は金沢工業大学の学生たちとの学修・研究活動を行う。最適な場所にて最大の成果を生む教育に尽力する。

・国際理工学科

2018年より国際理工学科を新設し、急速に変化する世界に対応できる幅広い分野の学習を行っている。入学生は、STEM教育による基礎学力、エンジニアリングデザイン教育によるモノづくり能力と理工学思考力、課外活動プログラムによる人間力を身に付けることができる。世界標準の工学教育 CDIO に基づいたカリキュラムで、グローバルに活躍するエンジニアの育成を行う。

[国際理工学科カリキュラムガイド](#)

・白山麓キャンパス（1・2年生 全寮制）

1・2年生の白山麓キャンパスは欧米型の「ボーディングスクール」である。教員の7割が外国人で、コミュニケーションスキルを磨く環境が整っている。また、学習の定着や課外活動を行う 19:30～21:30 のラーニングセッション（夜の学校）もある。学生、教員、スタッフが生活を共にしながら、グローバルイノベーターとしての英語力とエンジニアリングスキルを共に磨き上げる。

1・2年生

・ボーディングスクール

学生と教職員が共に学ぶラーニングコミュニティ

数学や理科の科目も英語で学ぶ

新設の「白山麓キャンパス」は1年生・2年生の学生、教員、スタッフ、さらに地元の方々と交流する「英語によるラーニングコミュニティ」である。ここでは、徹底した

英語スキルの取得を、英語科目だけではなく、数学、理科、共創科目を含め、白山麓キャンパス全体の中で展開していく。確かな学力を身につけるエンジニアリングデザイン教育を通して地域社会の多様な課題にチャレンジすることで、様々な価値観を尊重し柔軟な思考を育む。さらに、豊かな自然環境の下、学生と教員が寝食を共にする全寮制による集団生活や地域の方々との交流を通して、思いやりの心、リーダーシップ、アイデンティティなどを育み、強靱な人間形成に努めていく。さらに、日本初の理工系リベラルアーツ教育を通してどのような時代が到来しても柔軟に対応し、多様な課題を解決できる力を身につける。

理工系リベラルアーツ教育とは

世界のイノベーションシーンの教育実践としてデザインシンキング※1「CDIO」※2を取り入れた『エンジニアリングデザイン教育』である。予測困難な時代にあっても自分を活かしていける、自律性、チャレンジ精神、リーダーシップ、チームワークといった人間力と、新たな知識を獲得し、それを活用して多様な課題を解決していく力を身につける。

※1 デザインシンキング

ユーザー像を想定し、そのユーザーにとって何が問題で、何が必要なのかを考えアイデアを創出し、まとめたアイデアを具体化し、実験・検証などによってアイデアをさらにブラッシュアップしていくデザイン手法の一つ。

※2 「CDIO」

「Conceive（考える） - Design（設計する） - Implement（実行する） - Operate（運営する）」の略。専門知識と同時に対人スキルや製品・システム開発スキルを修得する統合化した学習体験を重視している。MIT やスタンフォード大学など 36 か国 137 の機関が加盟し、国際的な工学教育のスタンダードになりつつある。

・夜の学校

月曜日～金曜日の 19 時 30 分～21 時 30 分には、ラーニングセッションが行われる。学習内容の確実な定着と次回授業に積極的に参加するうえでの重要な課外学習である。もちろん担当教員がいるが、学生同士が教え合う場でもある。また、英語で行われる授業も多いことから英語のサポートも各自の習熟度に合わせて行う。さらに、授業以外で行われるプロジェクト活動を学生自らが発案し、活動していく時間にもなる。

3年生

・ニュージーランド オタゴポリテクニクへの留学

3年生は全員がニュージーランド・ダニーデン市にある国立オタゴポリテクニクへ留学し、世界中から若者が集まる環境で学ぶ。現地での生活は地元の実家庭にホームステイする。企業でのインターンやプロジェクト活動など様々なプログラムが準備されている。

4月

グローバルスタディーズ

「グローバルスタディーズ」を履修し、海外での学修や生活をしていくための準備を行う。留学中は、地元の家庭にホームステイする。

5,6月

ホームステイ

オタゴポリテクニクに到着後2カ月間は、「ファンクショナルイングリッシュ」及び「工学基礎実技」を履修。これは通常の授業に入るための事前学修となる。

7月～

オタゴポリテクニクでの授業

オタゴポリテクニクの学生たちと一緒に、「テクニカルイングリッシュ」と、実技中心の専門科目を選択し履修。

12月～

ニュージーランド留学終了

国際高専生のために設けられた「エンジニアリングデザインⅢ」にて、1カ月程度のインターンシップあるいはプロジェクト活動を行い、その後1年間の成果を論文にまとめ、プレゼンテーションを行う。

4・5年生

・大学生と共に専門分野の学修・研究活動を行う

4年生・5年生はより高度な English・STEM を学ぶ。また、金沢工業大学の学生と連携した研究やプロジェクト活動を行う。

世代・分野・文化を超えた共創教育

4年・5年では金沢工業大学の学生と連携したクラスター研究やプロジェクト活動を行う。金沢工業大学はプロジェクトデザイン教育を軸として「世代・分野・文化を超えた共創教育」を実践している。世界の舞台で活躍できる能力を育む「アクティブでオープンな夢考房キャンパス」を実現し、学生はそれぞれの夢やビジョンの実現を目指してアクティブに知的創造活動に取り組む。

ICT 卒業後は金沢工業大学 3 年次に編入、さらに大学院へ進み、高度な研究環境で最先端のイノベーションプロジェクトに取り組むことができる。

STEAM 教育とは

2000 年代に米国で始まった科学技術の新しい教育モデル「STEM 教育」は、S=Science (科学)、T=Technology (技術)、E=Engineering (工学)、M=Mathematics (数学) を

統合して学ぶ教育のことである。現在では、A=Art（芸術）を加えた「STEAM 教育」が注目されている。

国際高専では教育の柱のひとつとして英語での「STEM 教育」を推進している。さらに、エンジニアリングデザイン教育や課外活動プログラムの中で、先の科目群が示す知識がどのように生かされ、使われているかを理解し、知識やスキルが統合化されることを目指している。

*教育目標・教育理念(一部文章は国際高専 HP より引用)

ICT のビジョン

私たちは、学園を構成する人々（学生、理事、教職員）が共有する経営理念と価値群に基づく明確なビジョンを掲げ、社会が必要とする教育、研究、サービスの継続的な改善活動に努めると共に、その卓越性を追究し、社会に貢献する。

①教育の卓越性

人間形成を目的とする「教育付加価値日本一の学園」を目指す。

②研究の卓越性

「共同と共創による技術革新と産学協同の実現」を目指す。

③サービスの卓越性

関係する方々（顧客）の満足度の向上を目指す。

*3つのポリシー(一部文章は国際高専 HP より引用)

入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

本校は、教育目標を「グローバルイノベーターの育成」とし、学生・理事・教職員に対しては学園共同体が共有する価値に基づく信条である「KIT IDEALS」を常に意識、尊重することを求め、自身及び学園共同体の向上発展を目指している。また、グローバルイノベーターの素養をしっかりと身につけるため、1・2年は全寮制教育により人間力の陶冶を行い、3年には1年間の海外留学を義務づけている。

本校は、上記理念及び教育方法に共感し、次のような特徴を持つ人を求めている。

1. しっかりとした基礎学力を持ち、科学技術やデザイン（課題の発見・解決）、イノベーション（新しい価値の創造）に興味を持つ人
2. グローバル社会での活躍に強い関心と探究心を持ち、英語でのコミュニケーション能力を高めようとする人
3. 主体的に社会や地域に貢献する意欲を持ち、且つ行動する人

教育課程の編成方針（カリキュラム・ポリシー）

本校は、グローバルイノベーターの素養をしっかりと身につけさせるために、下記を特色とする CDIO イニシアチブ※の理念をカリキュラムに織り込み、学生の主体的な体験を

重視するカリキュラムを編成する。また、学修成果の評価については、成果物や試験以外に、活動プロセスや協働状況を評価するために学修ポートフォリオを活用する。

1. 課題発見・解決力を高める。

高専入学時から、Open-ended、即ち決まった答えのない問題について解決策を探るプロジェクトを早い段階でスタートさせる。継続的にデザインシンキングを実践する機会を設けて、課題を発見・定義する経験を繰り返し、幅広い研究成果や調査技術を駆使し、課題の解決へと結びつける力を養っていく。

2. 科学的思考力、コミュニケーション能力を鍛える。

他者と協働しながらアカデミックな探究の精神を養うこと、批判的・分析的思考の技術を磨くこと、ディスカッションやディベートを含む効果的なコミュニケーション能力を育成することに努める。

3. よりよい社会づくりに積極的に参画する態度を養う。

地域とのふれあいを意識し、地域社会や自然・環境を調査・研究対象としたプロジェクトを行い、地域貢献を通じて社会の一員としての自覚を醸成する。

4. グローバルに活躍できる英語力を培う。

特に数学、科学、工学における教育伝達的手段として1年次から英語を導入し、徐々に増やしていく。3年次以降はほとんどの授業を英語で行う。

5. 異なる文化や、多様な価値観を持つ人々と協働する力を身につける。

文学と芸術に触れる機会や、世界の人々と協働する体験を通じ、創造性と、自身や社会並びに世界に対する深い理解を育む。

卒業認定方針（ディプロマ・ポリシー）

本校は、グローバルに活躍するイノベーターの素養を身につけた実践的・創造的技術者を養成している。

グローバルイノベーターとは、課題を発見する科学的思考力を持ち、最新の工学知識や洞察力を身につけ、創造的な解決策を用いて新しい価値を生み出す人材である。さらに、さまざまな分野の専門家たちと協働し、文化や価値観の多様性を受け入れ、グローバル社会で活躍する力を持ったプロフェッショナルでもある。

新しい価値の発見者“イノベーター”は、工学原理、工学実践を幅広く理解していなければならない。つまり、工学教育改革を目指す国際的組織「CDIO イニシアチブ」の「Conceive、Design、Implement、Operate」というそれぞれの段階を理解し実践する者である。

具体的には、次の能力及び行動規範を身につけることが求められる。

I 社会に貢献するリーダーとしての人間力

1. 革新への挑戦

信念(高い志・強靱な意志)を持って行動し、失敗に臆することなく粘り強く挑戦し続け、自身やチームを成功へと導くことができる。

2. 社会的使命感

地域社会や自然環境に関心を持ち、社会的な課題の解決に使命感を持っている。

3. リーダーとしての高潔

グローバルな環境でリーダーシップを発揮する一方で、謙虚さや他者への尊敬、思いやりを持ち、信頼される人格を備えている。

II グローバルに活躍できるコミュニケーション能力

1. コラボレーション

チームで目標を達成するために、自分の役割と提供できる価値を認識し、積極的に貢献する。

2. 多様性とアイデンティティ

多様な文化や価値観を持つ人々と協働するための教養を備えつつ、自身の考えを持っている。

3. 心を動かす力

自身の考えを論理的にまとめたうえで、相手の立場や気持ちを考慮しながら効果的に伝えることができる。

III イノベーターに相応しい卓越した科学技術力

1. 価値創出

幅広い学問領域の探求とデザイン思考の実践により、これまでにない価値を創出することができる。

2. 自然・社会・産業と結びつけた科学的思考

科学技術を自然・社会・産業の面から理解・分析し、自分の考えを述べるができる。

3. 常に学び続ける姿勢

科学・工学の基礎を土台として、常に新しい知識・技術を獲得する姿勢を持っている。

これらの認識の下、本校の教育理念と教育目的に沿って設定された授業科目や教育プログラムを履修し、基準となる単位数を取得することが卒業の要件である。

*入試形態(一部文章は国際高専 HP より引用)

本校では、一般入試・自己推薦入試以外に、多様な学生を募集するためにグローバル入試・帰国生入試を実施する。また、すべての入学試験において、主体性や協調性、高い向上心を持つ学生を選抜するために面接試験を行う。

選考にあたっては、各入試区分で定められた試験および出願書類により多面的・総合的に評価する。

一般入試（募集人員 20 名）

1. 出願資格

次の(1)～(6)のいずれかを満たす者

※外国在住で外国籍の方は、日本への入国査証を2021年3月31日までに取得することが条件である。

※ニュージーランド留学査証の取得のために旅券(パスポート)を2021年8月31日までに取得することが条件である。

1. 中学校を卒業した者又は2021年3月に卒業見込みの者
2. 義務教育学校を卒業した者又は2021年3月に卒業見込みの者
3. 中等教育学校の前期課程を修了した者又は2021年3月に修了見込みの者
4. 外国において、学校教育における9年の課程を修了した者又は2021年3月31日までに修了見込みの者
5. 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は2021年3月に修了見込みの者
6. その他相当年齢に達し、本校が中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

自己推薦入試(募集人員5名)

1. 出願資格

次の(1)～(6)のいずれかを満たす者

※外国在住で外国籍の方は、日本への入国査証を2021年3月31日までに取得することが条件である。

※ニュージーランド留学査証の取得のために旅券(パスポート)を2021年8月31日までに取得することが条件である。

1. 中学校を卒業した者又は2021年3月に卒業見込みの者
2. 義務教育学校を卒業した者又は2021年3月に卒業見込みの者
3. 中等教育学校の前期課程を修了した者又は2021年3月に修了見込みの者
4. 外国において、学校教育における9年の課程を修了した者又は2021年3月31日までに修了見込みの者
5. 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は2021年3月に修了見込みの者
6. その他相当年齢に達し、本校が中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

グローバル入試(募集人員10名)

※グローバル入試で出願する場合は、出願前に必ず入試センターまでご連絡ください。

※グローバル入試では学力試験(数学・英語)を実施しません。自身の学力確認を含めて、出願前に2020年度入学試験問題集に取り組んでください。

1. 出願資格

次の(1)～(6)のいずれかを満たす者

※外国在住で外国籍の方は、日本への入国査証を2021年3月31日までに取得することが条件である。

※ニュージーランド留学査証の取得のために旅券(パスポート)を2021年8月31日までに取得することが条件である。

1. 中学校を卒業した者又は2021年3月に卒業見込みの者
2. 義務教育学校を卒業した者又は2021年3月に卒業見込みの者
3. 中等教育学校の前期課程を修了した者又は2021年3月に修了見込みの者
4. 外国において、学校教育における9年の課程を修了した者又は2021年3月31日までに修了見込みの者
5. 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は2021年3月に修了見込みの者
6. その他相当年齢に達し、本校が中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

帰国生入試(募集人員10名)

1. 出願資格

次の(1)～(3)の条件をすべて満たし、かつ2006年4月1日以前に生まれた者

*ニュージーランド留学査証の取得のために旅券(パスポート)を2021年8月31日までに取得することが条件である。

1. 通常の学校教育における9年の課程を修了した者又は2021年3月31日までに修了見込みの者
ただし、上記の「9年の課程」とは、日本の義務教育の課程に相当するものとする
2. 海外の学校(日本人学校含む)に連続して2年以上在籍し、かつ帰国後2年以内の者
3. 日本国籍を有する者又は日本の法律に定める永住者に該当する者

*試験状況及び偏差値や倍率(表は国際高専HPより引用)

偏差値 48

表1 2020年度 入学試験結果

入試区分	志願者	受験者	合格者
グローバル入試	8	8	7

帰国生入試	1	1	0
一般入試 A	19	18	9
一般入試 B	5	5	1
自己推薦入試	1	0	0
自己推薦入試 B	2	1	1
全入学試験	36	33	18

*卒業後の進路状況(表などは国際高専 HP より引用)

表 2 2019 年度進路先一覧

学 科	項 目	卒 業 者 数	留 学 者 数	進学者		就職者			自 営・ そ の 他	求 人 会 社 数	求 人 数	求 人 倍 率
				希 望 者 数	合 格 者 数	希 望 者 数	内 定 者 数	内 定 率 (%)				
電 気 電 子 工 学 科		25	0	4	4	18	18	100.0	3	433	403	22.4
機 械 工 学 科		34	0	8	8	26	26	100.0	0		303	11.7
グ ロー バ ル 情 報 工 学 科		37	0	21	21	15	15	100.0	1		176	11.7

総計	96	0	33	33	59	59	100.0	4		882	14.9
----	----	---	----	----	----	----	-------	---	--	-----	------

就職

業種	会社名
建設業	北陸電気工事(株)、北陸電設(株)、米沢電気工事(株)、(株)ヨネモリ
食料品・飲料・飼料・たばこ製造業	雪印メグミルク(株)
化学工業・石油・石炭	(株)カネカ
鉄鋼・非鉄金属・金属製品製造業	小松ウオール工業(株)、大和製罐(株)
一般機械器具製造業	キヤノンメディカルシステムズ(株)、澁谷工業(株)※、(株)鈴木鉄工、ダイキンエアテクノ(株)、ダイキン工業(株)※、高松機械工業(株)、東芝エレベータ(株)、東和(株)、日本オーチス・エレベータ(株)、(株)北都鉄工
電気・情報通信・機械器具製造業	(株)金沢村田製作所※、シャープ(株)、日本電産(株)、発紘電機(株)、パナソニック(株)オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社
電子部品・デバ	京セラ(株) 滋賀蒲生工場、(株)三陽製作所

イ ス 製 造業	
輸 送 用 機 械 器 具 製 造 業	パナソニック(株)インダストリアルソリューションズ社、 パナソニック(株)グローバル調達社、(株)日野ヒューテック
精 密 機 械 器 具 製 造 業	(株)インダ
そ の 他 製 造 業	メタウォーター(株)
電 気 ・ ガ ス ・ 熱 供 給 ・ 水 道 業	北陸電力(株)
情 報 通 信 業	E I Z Oサポートネットワーク(株)、(株)NTT-ME、 NTTコムエンジニアリング(株)、(株)NTTフィールドテクノ※、 (株)ソフト開発、TFペイメントサービス(株)、 パナソニックシステムソリューションズジャパン(株)、 (株)日立社会情報サービス
印 刷 ・ 同 関 連 業	高桑美術印刷(株)
そ の 他 の サ ー ビ ス 業	(株)アルファシステムズ、NECネッツエスアイ(株)※、 京セラコミュニケーションシステム(株)※、 CTCシステムマネジメント(株)、CTCテクノロジー(株)、 (株)タマディック、(株)富士通エフサス、三菱電機ビルテクノサービス(株)※

進学

金沢工業大学(23 名)、豊橋技術科学大学(4 名)、福井大学、多摩美術大学、立命館アジア太平洋大学、神奈川大学、日本外国語専門学校、大原学園

※印の会社には2名以上が就職